

## 伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 17 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2025 年 10 月 31 日(金)			
開催時間	開会	18:00	閉会	19:10
開催場所	市役所 1 階 101 会議室 オンライン併用			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：黒河内貴氏、土田智氏 ○L：志知貴文氏、鈴木孝之氏、政金裕太氏、瀧内貫氏			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 織井邦明課長、有賀慎課長補佐、 村田和也新産業技術推進係長			
関係者	—			
欠席者	細谷啓太氏			
議事	1、次回「対話・つながり・実現の場」詳細内容について			

議事項目	概要	次のステップ
1、次回「対話・つながり・実現の場」詳細内容について		
「対話・つながり・実現の場」チラシ案 3つの「問い合わせ」プラス1について	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チラシに載せた 3 つの「問い合わせ」プラス 1 の言い回しについて、もう少しそうい表現がないかと思っている。ご意見をいただきたい。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;3つの「問い合わせ」プラス 1 案&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「歩きたくなるまちってどんなまち？」</li> <li>「情報発信ってどんな場所でどんな方法？」</li> <li>「まちづくりの次世代が関わりたくなるまちって？」</li> </ol> <p>+1. 「その他なんでもあり！」</p> <hr/> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「問い合わせ 2」は、「どんな場所でどんな方法で情報発信？」とひっくり返してはどうか。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「情報発信にはどんなやり方があるだろう？」というのが大きな問い合わせであると思う。当然その中には場所も含まれる。「情報発信のための箱物を作ろう！」みたいな議論に行かないようにならう！みたいに議論に行かないようにしたい。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「問い合わせ 1」、「問い合わせ 3」は利用者側、受益者側の目線の「問い合わせ」なのに対して、「問い合わせ 2」だけはサー</li> </ul>	

	<p>ビス提供者側の目線なので目線を揃えた方がよいと思う。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「情報が集まる」とか「情報を得られる」という表現がよいのではないか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・移住してきた人や、自分が住んでいるコミュニティ以外の情報を得たい人にとって「情報が集まる場所って?」という「問い合わせ」の方が参加しやすいと思う。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今回この「問い合わせ 2」にたどり着いたのは、今までの「対話・つながり・実現の場」で情報発信について興味がある人が多かったというより、「魅力的な場所があるのにあまり知られていない」というコメントが多かったことや、まち歩きを通した課題・魅力の可視化体験によるものである。</li><li>・「問い合わせ 2」は双方向であるべきと考える。「情報が集まる」という表現は客観的で、発信者側でも受信者側でもなじむ感じがするのでよいと思う。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「情報が集まる場所・方法は?」でよいだろうか。 「情報」の前に「まちの」や「地域の」と付けなくてよいか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「まち」だけでなく「人」の情報かもしれない。意味に広がりがあり、しかも短い「情報」というワードでよいのではないか。</li><li>・「問い合わせ 3」は、どうしたらコミュニケーションを取れるか、接点を作れるかという話なので、「まちづくりへの次世代の関わりって?」という感じでもよいかもしれない。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「次世代」は「若い人たち」という認識でよいか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一般的には「若い人たち」になてしまうと思うが、本来的には、世代関係なく新しく入って来る人たちと捉えてもらいたい。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「問い合わせ 3」に載せるワードとしては「次世代」でよいのではないか。20代の人にとっては「次世代」と言われると自分たちのことを指していると思うだろうし、年配の人から見れば60代でも「次世代」で</li></ul>
--	--

	<p>ある。自分以外の世代という意味で客観視できるマジックワード「次世代」でよいと思う。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「問い合わせ+1」は、他3つの「問い合わせ」に収まらない何かを実現したい人に参加してもらえる表現にしたい。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「その他あなたのとおきのテーマをお待ちしています！」はどうか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・他の3つの「問い合わせ」だけで本当によいのか？という思いも少しあるので、他に1つぐらいすごく筋のよいテーマが見つかればよいと思う。</li><li>・チラシデザインで、他の3つの「問い合わせ」より○の黄色を少し薄くしてほしい。</li></ul> <hr/> <p>&lt;3つの「問い合わせ」プラス1 決定版&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 「歩きたくなるまちってどんなまち？」</li><li>2. 「情報が集まる場所・方法は？」</li><li>3. 「まちづくりへの次世代の関わりって？」</li></ol> <p>+1. 「その他あなたのとおきのテーマをお待ちしています！」</p> <hr/> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・それぞれの「問い合わせ」に、参加者に興味を持つてもらえるように#(ハッシュタグ)でキーワードを載せたが、意見をいただきたい。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「問い合わせ3」の#「共助」は「問い合わせ1」に入れた方がよく、「問い合わせ3」に#「移住」を入れてはどうか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「問い合わせ2」の#はすべて手法になっているので、違うものがあってもよいのではないか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・例えば「問い合わせ2」に#「ポッドキャスト」など具体的な場面が想像できそうなアイデアの種を入れておくとよいかもしれない。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「問い合わせ2」に#「FM」、#「ラジオ」などを入れてはどうか。</li><li>・「問い合わせ1」に#「木質化」を入れなくてよいか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「問い合わせ2」に#「駅」、#「いなっせ」を入れてはどうか。</li></ul>	
--	--	--

グループワークの流れについて	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・たしかに、#「ポッドキャスト」、#「駅」、#「図書館」くらいのレベルの具体例があったほうがよいかもしれない。</li></ul> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・#「移動手段」を「問い合わせ+1」に入れたい。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「問い合わせ 1」に#「移動手段」を入れ、「問い合わせ+1」に#「居場所づくり」を入れてはどうか。「問い合わせ 1」に#「居場所づくり」を入れると、強いワードなので、歩きたくなるまちの議論がそこに集中する可能性がある。みんなが「居場所ほしいよね」と言うけれど、結局誰もやらないということにもなってしまいそうである。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参加者は、グループワーク 1~3 はずっと同じグループというイメージでよいか。</li></ul> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・基本同じグループでよいと思うが、前回WGではテーマが自分に合わないと思えばグループワーク 1 と 2 の間でグループを変わってもよいという話だった。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループワーク 1 については、ワークシートを作成してみた。</li><li>・ワークシートには、例えば「問い合わせ 1」であれば「あなたが歩きたくなるまちはどういうところですか?」、「そのまちにはどんなモノ、コトがありますか?」、「歩きたくなるまちの要素は何ですか?」、「その要素を作ることのできる具体策や具体的な空間って何ですか?」という質問がある。</li><li>・まず個人ごとワークシートに回答してもらい、グループ内でそれぞれどんなことを書いたか共有し、「歩きたくなるまちって木陰を作る街路樹があるよね」というような話を出してグループワーク 1 が終わるイメージである。</li><li>・理想的な歩きたくなるまちについて、実現可能性を考えずにとりあえず発散するのがグループワーク 1、具体的に何ができるかを計画するのがグループワーク 2 と考えている。</li><li>・グループワーク 2 は企画書を作る感覚でやるのか、あまりイメージができていない。</li></ul> <p>○WG メンバー</p>
----------------	--

次々回の講師について	<ul style="list-style-type: none"><li>・横軸に「1日でやること」「1週間でやること」「1ヶ月でやること」「1年でやること」という時間軸があり、縦軸に「誰がやるのか」があるアクションプランが使えるのではないか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループワーク1、2を経てグループワーク3でどんな講師から話を聞きたいかという話になるが、話を聞きたい講師の候補が出てこないと困る。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループワーク2でアクションプランを埋めていくことを課し、埋まらない箇所について、グループワーク3で、何が足りないか、どういう人材がほしいか、どういう経験がほしいかを対話すると、どんな講師から話を聞きたいかが出てくるのではないか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループワーク2ではあまり具体的にアクションプランを埋められないと思うが、こんな講師から話を聞けば埋められると頭の片隅にある参加者がいるとすれば、グループワーク2から講師の話も含めて進めてよいのではないか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループワーク2、3の建付は、あまり他のワークショップでは見ない、参加者がワクワクする内容であると思う。グループワーク2と3は一つながりだけれど、強制的に休憩時間を入れてあらためて対話を続けるという構成でやると、結構ハイレベルなワークショップになる気がする。グループワーク2の段階でも講師像を思い浮かべながら臨んでいただけるとよいと思う。</li><li>・グループワーク2、3が一連ということになれば、チラシのグループワーク2、3の背景の色はグループワーク1の背景の色と違う方がよい。</li><li>・全体に文字量の多いチラシなので、チラシの右上余白にイラストを入れると柔らかい雰囲気になると思う。例えば「やりたい」というワードから「槍」と「鯛」のイラストを入れるなど。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次回を受けて次々回には各「問い合わせ」1人ずつ3人講師を呼べるイメージでよいか。</li></ul> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1回に講師が3人いるとワチャワチャしてしまう。</li></ul> <p>○WG メンバー</p>
------------	---

ラップアップのやり方について	<ul style="list-style-type: none"><li>・次々回の講師は1人がよいと思う。講師候補が3人出たとしても、次々回はそのうちの1人を呼び、当然今後もこのWGは続いているので、次々々回以降、別の講師を呼び同じフォーマットでやっていければWGメンバー側もやりやすい。</li></ul> <p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループワーク3で講師候補が3人出たとして、ラップアップで次々回に誰を呼ぶか決めなければならぬか。</li></ul> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次回は講師候補3人挙げて終了でよいのではない。講師との調整が付くかもわからないので、次々回に誰を呼ぶかはこのWG内で決めてよいと思う。次々回の開催を周知するタイミングで発表するような形になると思う。</li></ul> <p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・講師料がめちゃめちゃ高い人が候補として挙がると思うので、絶対呼べるという雰囲気は出さないほうがよい。</li></ul> <p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・出された意見について、それがどういう意味を持つか、社会的にどの辺りの話と一緒にという話をするのが多分一番わかりやすい。</li><li>・例えばウォーカブルの話が出たとして、先進地のこの事例と近いみたいな話ができればよいけれど、知識がないとできないので難しい。</li><li>・ラップアップ担当のWGメンバー2人が対話する形で、「ちょっと主観的な話になりますけれど…」と前置きして、「コレは面白い」とか、「コレが始まるとまちなかが変わる気がする」とか、「コレ面白いと思ったので私も参加したいと思いました」といった感想のまとめがよいのではないか。</li></ul> <p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・その場で話をしたい各グループコーディネーターがあれば喋ってもらってよい。</li></ul> <hr/> <p>[日時] 11月30日(日) 13:30～16:10/開場13:00 [場所] 伊那市役所5階501会議室 問い合わせ: 伊那市企画政策課 TEL/0265-78-4111 (内線2146) <a href="mailto:MAIL/kij@inacity.jp">MAIL/kij@inacity.jp</a></p> <hr/> <p>に修正する。</p>

事務連絡	<p>[WG メンバー集合時間] 12:45 頃 ※会場準備は企画政策課事務局でおこなう。</p> <p>[準備品] スクリーン、プロジェクター、名札、アンケート…</p> <p>[チラシ校了期限] 11/7(金)</p> <hr/> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・チラシができれば新聞に記事を掲載してもらえるのではないか。通常イベントのチラシを持った主催者の写真を載せてくれるので、WG リーダーがチラシを持った写真を掲載していただけるのではないか。</li><li>・私の方で新聞社の担当の方におつなぎできる。新聞社の担当の方には、「問い合わせ 2」に是非参加してほしい。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・週末にかけてslackで更新したチラシを共有するので WG メンバーでチェックしてほしい。そのうえで来週半ばくらいには提出したい。</li><li>・グループワークで使うワークシートについても、私の方でドラフトを作成しslackで共有するので WG メンバーに添削をお願いしたい。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3つの「問い合わせ」グループのワークシートの難易度は統一したい。アクションプランの具体例についてはシェアする。</li><li>・次回参加者の中でこの講師にはコンタクト取れりといった情報を収集したい。事務局から正式にオファーするにしても、つながっている人がいればそこからアプローチしてもらったほうがよい。</li></ul> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参加者が希望する講師とつながりがあるといった情報はアンケートで収集するようにする。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・チラシが完成して参加者募集が始まつたら、どのくらい申し込みがあるか週 1 回程度 WG メンバーに共有してほしい。</li></ul>	WG メンバーにチラシを修正いただき、他の WG メンバーで確認する。 (11/7) WG メンバーに当日使用するワークシート、アクションプラン（プラン）を作成していただき、他の WG メンバーで確認する。 (11/21)
------	--	--

## ■今後のスケジュール

<次回「対話・つながり・実現の場」>

- ・11月30日(日)13:30～ 市役所5階501、502会議室

<次回 WG>

- ・12月第1週か第2週のいつか 18:00～ 市役所 (オンライン併用)

<次々回「対話・つながり・実現の場」>

- ・1月31日(土)午後 市役所1階多目的ホール